



① 学校にプロ野球選手がやってきた！
楽天イーグルスが豊田小学校を訪問

6月19日、楽天イーグルスの選手4名とコーチ2名が豊田小学校を訪問しました。始めに、鷹野コーチが「プロ野球選手を身近に感じてもらい、もっと野球を好きになってもらいたい」と挨拶。次に「これをかぶって荘銀・日新スタジアムで行われる試合で応援して欲しい」と児童全員にキャップがプレゼントされました。キャップは選手から児童に直接手渡され、子どもたちは大喜びでした。

その後のプロ野球選手との交流では、一人1球ずつ選手とキャッチボールを体験。学年の代表1名が出場するホームラン対決では、6年生の丹野息吹くんが体育館の壁にボールが勢いよくぶつかるほどのバッティングを披露して優勝。丹野くんには選手

のサインボールがプレゼントされました。現役の選手とコーチの訪問に大興奮の子どもたちでした。

↑ホームラン対決で優勝した丹野息吹くん



楽天イーグルス ファーム公式戦が開幕

(荘銀・日新スタジアム試合分)

6月20日、荘内銀行・日新製薬スタジアムやまがた(県野球場。以下、荘銀・日新スタジアム)で楽天イーグルス(以下、楽天)対読売ジャイアンツ(以下、巨人)のファーム公式戦が行われました。

本来は19日に開幕の予定でしたが、あいにくの雨でこの日は開幕セレモニーのみの開催となりました。開幕セレモニーでは吉村知事が挨拶し、楽天の副社長と巨人の監督につや姫が贈呈されました。また、大津町長からは町の地酒「ひまわり娘」と町内産のさくらんぼが、荘銀・日新スタジアムの命名権者である荘内銀行・日新製薬からは花束が贈呈されました。

雨がすっかりあがった翌日20日、会場である荘銀・日新スタジアムには1700人以上の観客が集まりました。

試合は、巨人に先制点をとられてしまいましたが、その後巻き返して9対3と大差をつけて楽天が勝利。会場に訪れたたくさんの方々の応援のおかげで、荘銀・日新スタジアムでの開幕戦は順調な滑り出しとなりました。



今シーズンの楽天ファーム公式戦
 (荘銀・日新スタジアム試合分)

- 8月21日(火)・22日(水) 18:00~
対 千葉ロッテマリーンズ戦
- 9月4日(火)・5日(水) 18:00~
対 横浜DeNAベイスターズ

② **気持ちよく観戦してもらうために**

6月17日、楽天2軍の荘銀・日新スタジアムでの開幕戦を前に、楽天イーグルス町支援本部メンバーによるボランティア清掃活動が行われました。早朝から野球場周辺の道路や観客席のごみを約1時間かけて拾いました。

その後、観客にきれいなイスで気持ちよく観戦してもらうため、観客席の拭き掃除が行われました。楽天イーグルス町支援本部のメンバーや町の野球スポーツ少年団など約100名のボランティアの方が集まり、シーズンオフの間に土ぼこりで汚れた観客席を、各自持参した雑巾でひとつひとつ丁寧にふき取りました。

ボランティアに参加してくださった皆様のご協力のおかげで、きれいなイスで開幕戦を迎えることができました。



③ **もっと野球が上手になりたい！**

6月17日、荘銀・日新スタジアムで楽天イーグルスのジュニアコーチによる野球教室が行われました。中山町のほか、山形市や大江町など県内各地から野球スポーツ少年団の小学生123名が参加し、コーチから投球・打撃・守備などを教わりました。教室の最後に行った生き残りノックでは、最後まで残った奥山瑞稀くん(長崎小6年)に賞品として楽天イーグルスのユニフォームが贈られました。

指導にあたった鷹野コーチは「中山ジュニアスポ少のみんなは元気がよく素直で成長が期待できる。根気よく練習すればプロ野球選手も夢ではない」と中山ジュニアスポ少の子どもたちを絶賛。将来、町からプロ野球選手が誕生するかもしれません。



奥山瑞稀くん

